



No. 425

2025年10月1日

発行 日本労働組合総連合会山口県連合会
〒753-0078 山口市緑町3-29 労福協会館3F
TEL 083-932-1123 FAX 083-932-1131
Eメール: rengo-yamaguchi@rengo-y.com

発行人 中元直樹
編集人 倉重里加

広報 連合山口

<https://rengo-y.com>

平成7年5月22日第3種郵便物承認 毎月1日発行 購読料1部15円(組合費を含む)

2025「総括討論集会」「地区会議代表・事務局長会議」を開催



連合山口は8月20日(水)に、総括討論集会および地区会議代表・事務局長会議を開催し、構成組織・各地区会議から51名が参加しました。



伊藤会長



主催者挨拶で、伊藤正則会長は「今年一年の活動を総括し、次期運動方針に反映させていく。皆さんからの積極的な議論をお願いします」と述べました。

次に、中元直樹事務局長が3つの重点分野と4つの推進分野、運動を支える基盤強化について、今年度の評価及び反省と討論ポイントを提起しました。その後、3つの分散会に分かれ、構成組織と地域組織それぞれの視点から討論を行いました。

分散会では、テレビCMやSNSの活用について、さらに工夫が必要であること。秋吉台の火道切りについては、続けていくことの必要性や課題などをしっかりと説明し、実施に当たってはマスコミへのアピールに加え、動画を作成し発信するなど、建設的なご意見を多くいただきました。

中元事務局長



最後に中元事務局長は「皆さんから、大変前向きなご意見を頂いたことに

ついて感謝する。構成組織の縦の活動と、地域の横の活動を上手くマッチングさせ、より良い活動ができるよう準備をしていきたい」と集会の総括をしました。

連合山口は、引き続き、刻々と変化する社会情勢や時代とともに移り変わる役員や組合員および生活者の意識・価値観にも対応した労働運動のスタイルを議論・確立させ、職場や地域、すべての働く仲間にとって「必ずそばにいる存在」となるべく、重点課題を中心に取り組みを進めていきます。



▲第一分散会



▲第二分散会



▲第三分散会

もくじ

p1

2025総括討論集会、
地区会議代表・事務局長会議

p2

平和行動in根室

p3

原爆被爆者支援カンパ贈呈・県最賃改定・過労死
等防止対策推進シンポジウム・ワークルール検定

p4

東部地協だより
・労働相談事業



連 合 2 0 2 5 平 和 行 動



in 根室

～北方領土(択捉島、国後島、色丹島、
歯舞群島)の返還！日ロ平和条約の締結を！～



9月6日(土)・7日(日)の両日にわたって開催された連合「2025平和行動in根室」に連合山口から4名で参加しました。

1日目は、北方四島学習会として、地元「根室高校 北方領土根室研究会」による、これまでの取り組みを拝聴しました。

2日目は、眼前に北方領土が望める納沙布岬・望郷の岬公園で「2025平和ノサップ集会」が開催され、全国の構成組織・地方連合会から約650名参集し、集会アピールを満場一致の拍手で採択しました。



2025 平和行動 in 根室 参加者レポート

● 基幹労連 井上 薫

戦後80年という節目の年に参加させていただきました。本来であれば自身の進路や将来を考える重要な時期に、戦争の当事者ではない高校生にまでこの問題を考えさせていることが、戦争というものが如何に愚かな行為であり、終戦80年を迎えた今もなお、その影響が色濃く残っていることを再認識させられました。

この間、多くの方が不遇な状況におかれている中、我々ができることは同じ過ちを繰り返さないことであり、多くの方がこの集会に参加し風化させないことが重要と感じました。

当たり前の日常に感謝しながら平和活動の持つ意味を伝えていきたいと思えます。

● J P 労組 中野 晶翔

「北方領土問題」を皆さんは考えたことはありますか？私は正直、これまでニュース等で耳にしたことはありますが、あまり考えたことはありませんでした。今回、平和行動に参加させていただき、講師の北方領土研究会の学生さんの講話を聴く機会がありました。突然、島を追いつけられ大切な故郷に戻ることも自由に訪ねることもできない元島民の方々のことを想うと胸が苦しくなりました。

現在、元島民の方々の平均年齢は89歳、生存者は5,000名を下回っています。当時の3分の1以下となっています。元島民の方々の「故郷に戻りたい」という願いを叶える為、私たちができることは現状を知り署名をすることです。都道府県どこからでもできます。1人でも多くの方が運動に参加し、1日でも早く北方領土が返還され、自由に行き来できるよう願っています。

● 電機連合 石田 拓郎

今回初めて平和行動in根室に参加しました。北方領土問題については、小中学生のころに習ったおぼろげな記憶と時々ニュースで目にする程度でこれまであまり身近な問題としてはとらえられていませんでした。

1日目の北方四島学習会では、地元、根室高校の北方領土根室研究会の学生による講演があり、ごく普通の高校生が北方四島は日本に返還されるべきと訴え、純粋な気持ちでこの問題に真剣に取り組んでいる姿に驚かされました。

2日目の2025平和ノサップ集会では、元島民の方々の望郷の思いとロシア兵に追いつけられた悔しい思いを聞き、同じ日本人として国民全体で返還を求めていくべきだと感じました。

今回の平和行動で学んだこと、感じたことを周りの人たちに少しでも伝えていけたらと思います。

連合山口は、過去を振り返るだけでなく、未来へと続く平和の道を見据え、確かな歩みを進めていきます。組合員の皆様には、引き続き平和の尊さを胸に、次世代への継承にご協力いただきますようお願い申し上げます。

地協便り

東部地域協議会から

～ 政策制度研修会を開催 ～



東部地域協議会は、8月23日(土)「企業のBCP(事業継続計画)策定の必要性」をテーマに地協三役と推薦議員を対象とした政策制度研修会を開催しました。

山口県の東部地域は瀬戸内海に面しており、今後、南海トラフ地震などに直面することを想定しておくことが必要となる為、まず、令和6年に発生した能登半島地震の救援ボランティアとして実際に現地で活動した連合山口の岡崎博幸副事務局長から、

大地震発生

時には、どのような被害が起こるのか、またどのような課題が生じるのかについて話を伺いました。その後、広島県自主防災アドバイザーで瀬戸内コンサルティング(株)代表取締役の津森正裕氏から企業のBCPについての講演をいただきました。

津森氏は「企業の事業継続が困難になる脅威は、地震や津波などの自然災害に加え、伝染病の発生やサイバーテロ等もある。



▲津森講師

そうした緊急事態に備えて、平時から被害を想定し、何を守る必要があるのか、予め重要事業を洗い出し、業務を継続させるための計画をつくっておくことが必要であるが、山口県内の企業においては策定が進んでいない現状がある。労働組合の立場からも会社に対してBCP策定を訴えていくことも必要ではないか」と話されました。

今後、東部地協としても、いつ起こるか分からない自然災害などの緊急事態に備えて、各地区会議や推薦議員と連携しつつ、企業のBCP策定が進むよう、必要な対策を企業や行政などに求めていきたいと思ひます。

— 東部地協：久富事務局長 —

労働相談事案 コーナー

【相談内容】

相談者：40代女性

半年前から今の職場に勤務しているが、業務内容が面接時の説明と違ってたり、ようやく仕事を覚えたところで、部署異動を命じられたりしたため、今月付で退職をしたい旨を所属の上司に申し出たが、人手不足を理由に、あと2ヶ月は絶対に辞めることは許されないとされた。また、退職の希望を伝えた後、仕事にきつい態度をとられるようになり、改めて退職のことを言い出しづらい状況になって困っている。どう対応したらよいかアドバイスがほしい。

回答



無期雇用の場合、労基法上は退職を申し出てから2週間で退職できることになっている。就業規則に、申し出から1か月で退職できると記載されていれば、就業規則に沿った形で退職をすることで、出来る限り円満に退職する選択もあることをアドバイスした。また、退職を申し出る際には「退職願」ではなく「退職届」を提出することや、退職届を受け取ってもらえない場合は、内容証明郵便を利用すれば、退職の意思表示をしたことをより確実にできることを伝えた。

ワークルール検定に挑戦! 解答

A 2

オープン・ショップは労働組合の加入は自由です。エージェンシー・ショップは労働組合の加入は自由ですが、組合活動経費の支払いの必要があります。クローズド・ショップは、企業が特定の労働組合から雇用しなければならない制度です。

働くみんなの連合サポート

ワーク
Wor-Q

"Q" Support System for All Workers by RENGO

アクセスは
こちら



県央地域協議会

〒745-0045 周南市徳山港町1-1 旧周南市役所港町庁舎2階
TEL: 0834 (21) 0768 FAX: 0834 (21) 0290

東部地域協議会

〒740-0013 岩国市桂町2-6-1 こども館内
TEL: 0827 (22) 0160 FAX: 0827 (22) 0161

西部地域協議会

〒750-0001 下関市幸町8-16 下関市勤労福祉会館内
TEL: 083 (222) 0869 FAX: 083 (223) 9428

中部地域協議会

〒753-0078 山口市緑町3-29 労福協会館3階
TEL: 083 (902) 1811 FAX: 083 (932) 1131

[連合山口QRコード]



連合山口 検索

<https://rengo-y.com>